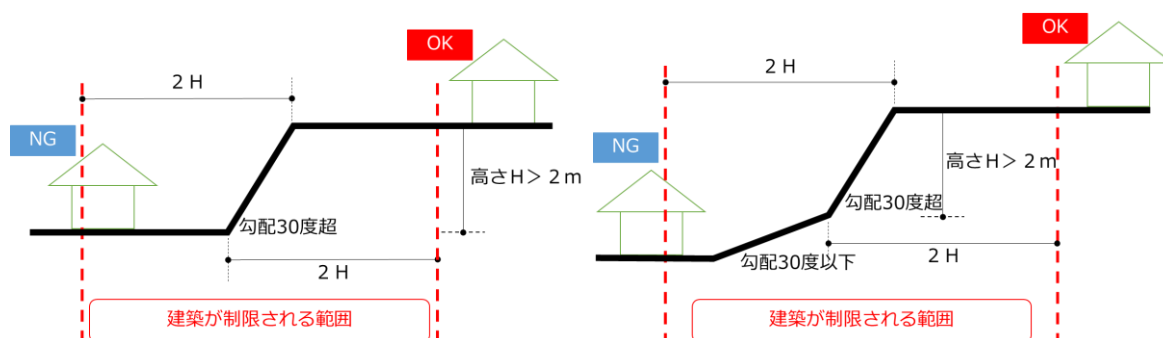


がけに近接する建築物の取扱い

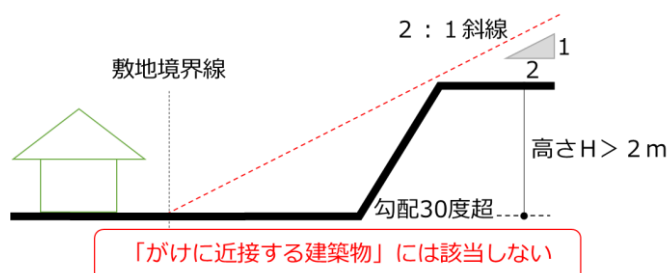
(1) がけの高さ及び規制する区域（山形県建築基準条例第4条の2）



図—1：建築が制限される範囲

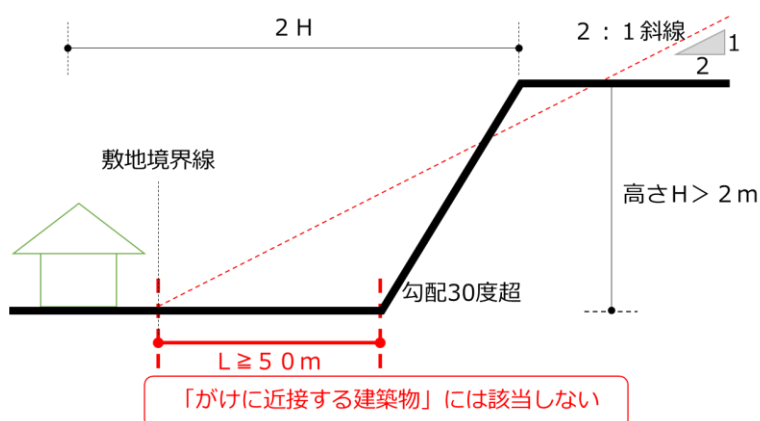
(2) がけに近接する建築物の判断基準について（昭和62年7月2日施行）

- ・当該敷地を基点とし、底（下）辺と高さが2：1となる斜線の内側に「がけ」が存在する場合は「がけに近接する建築物」の取り扱いは行わない。



図—2：がけに近接する建築物の考え方の例

- ・上記の斜線を超えて、勾配が30度を超え、高さが2mを超える「がけ」が存在する場合は、当該「がけ尻」から当該敷地までの水平距離Lが50m以上確保できれば「がけに近接する建築物」の取り扱いは行わない。



図—3：がけに近接する建築物の考え方の例